

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年08月08日

計画の名称	堺市公共下水道事業計画（防災・安全）（第Ⅳ期）													
計画の期間	令和０５年度 ～ 令和０８年度（４年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	堺市													
計画の目標	下水道事業を推進することにより、市民の快適で安全・安心な暮らしを守り、環境の保全と地域の発展に貢献する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		18,900	A	18,900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	－	R8末
1	指定避難所及び福祉避難所等と処理場を結ぶ管きょなどの「重要な管きょ」の耐震化率を96.1％（R5当初）から97.2％(R8末)にする。 重要な管きょの耐震化率 耐震化済重要な管きょ延長／重要な管きょ延長	96%	%	97%
2	堺市が設定した設備機器の目標耐用年数に満たない設備の割合を現状の70％以上を維持する。 目標耐用年数に満たない設備の割合 目標耐用年数未満の設備数／全設備数	70%	%	70%

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

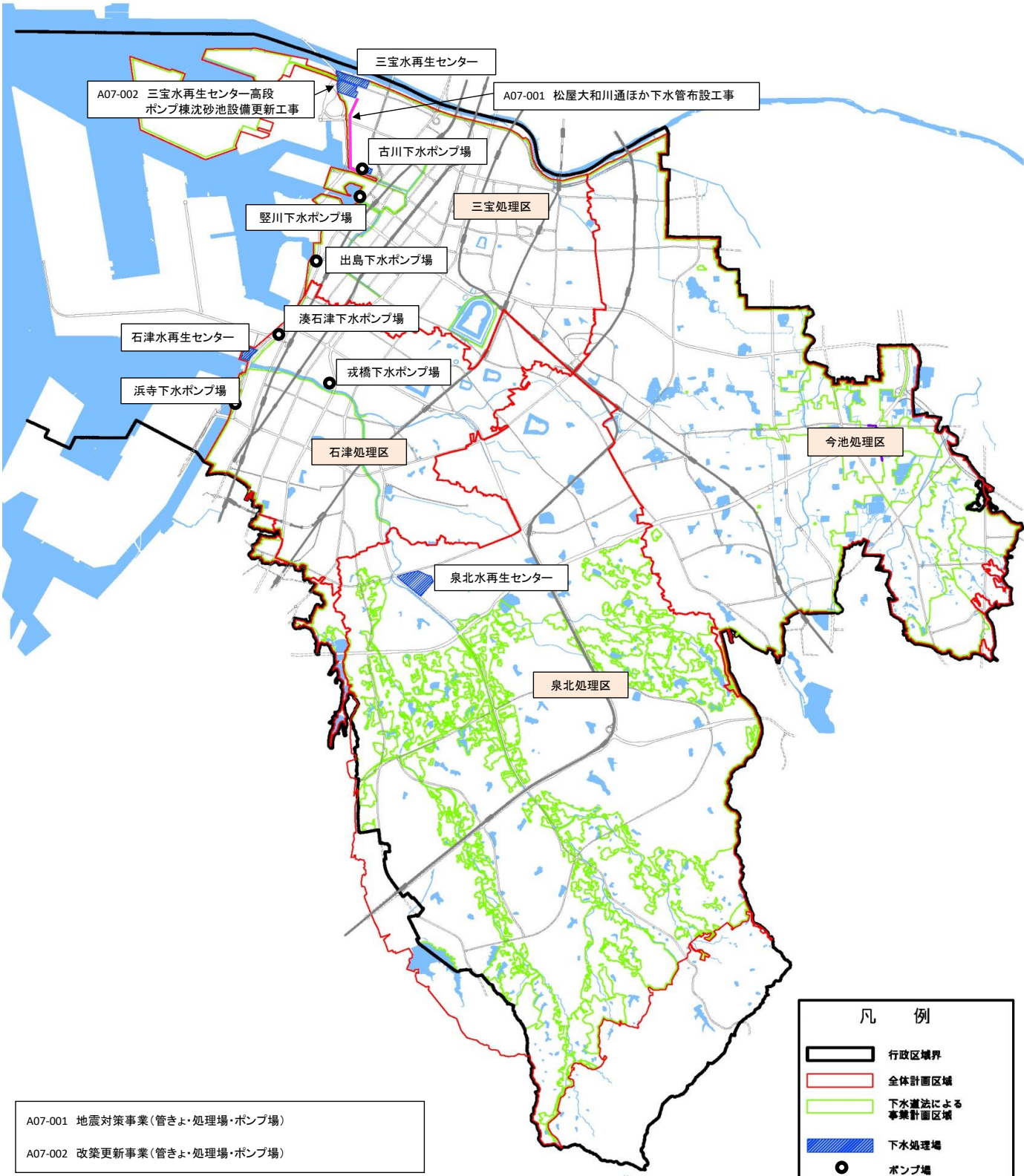
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	堺市	直接	-	終末処 理場	改築	地震対策事業（管きょ・ 処理場・ポンプ場）	松屋大和川通ほか下水管布設 工事 ほか	堺市	■	■	■	■		6,300	-	策定済
		【種別1】管きょ・処理場・ポンプ場【種別2】新設／下水道総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	堺市	直接	-	終末処 理場	改築	改築更新事業（管きょ・ 処理場・ポンプ場）	三宝水再生センター高段ポン プ棟沈砂池設備更新工事 ほか	堺市	■	■	■	■		12,600	-	策定済
		【種別1】管きょ・処理場・ポンプ場／下水道ストックマネジメント計画																	
											小計						18,900		
											合計						18,900		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06	R07		
配分額 (a)	908	820	278		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	908	820	278		
前年度からの繰越額 (d)	0	676	612		
支払済額 (e)	232	884	647		
翌年度繰越額 (f)	676	612	243		
うち未契約繰越額(g)	0	0	82		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	9.21		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	堺市公共下水道事業計画（防災・安全）（第Ⅳ期）		
計画の期間	令和5年度～令和8年度（4年間）	交付対象	堺市



- A07-001 地震対策事業(管きょ・処理場・ポンプ場)
- A07-002 改築更新事業(管きょ・処理場・ポンプ場)

事前評価チェックシート

計画の名称： 堺市公共下水道事業計画（防災・安全）（第Ⅳ期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（上位計画名：堺市上下水道事業経営戦略）	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 2) 本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境（事業塾度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境（事業塾度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 住民等から事業実施についての要望がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 2) 計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○